

TM-AD1280Ver2.0の追加機能説明

-----

1. 追加機能

- 1-1. PIAFS対応
- 1-2. INSなりわけサービス対応
- 1-3. 擬似なりわけ機能
- 1-4. プリフィックスコール機能
- 1-5. 無通信監視タイマ機能の拡張
- 1-6. FAX無鳴動着信機能の拡張
- 1-7. サブアドレスの拡張

2. 拡張されたコマンド

3. 拡張されたリザルトコード

4. データ通信の交信記録追加表記

5. アナログポート設定追加内容

6. アナログポート設定追加表示

-----

1. 追加機能

1-1. PIAFS対応

PIAFS(PHS Internet Access Forum Standard) プロトコルに対応している機器と32Kbps データ 通信ができます。

設定:

- G1=5 (通信モードをPIAFSにします。)
- G11=32 (PIAFSの着信を許可します。)

1-2. INSなりわけサービス対応

NTTの付加サービスである「INSなりわけサービス」に対応しています。(有料のサービスで契約が必要) 登録された相手からの呼び出し音は、通常の呼び出しより短い周期で鳴ります。

1-3. 擬似なりわけ機能

「INSなりわけサービス」と同じ動作です。登録した相手からかかってきた時の呼び出し音を鳴り分けます。相手が発信者番号を通知しないとこの機能は利用できません。

設定：

- 1 受話器を上げ（1）（\*）（5）（1）と押す。
- 2 受話器を戻す。

解除：

- 1 受話器を上げ（1）（\*）（5）（0）と押す。
- 2 受話器を戻す。

保存：

受話器を上げ（9）（\*）（#）と押し受話器を戻す。

確認：

- 1 受話器を上げ（#）（1）（\*）（5）と押す。
- 2 受話器を戻す。10秒間表示窓に表示されます。

注意：

・短縮番号は市外局番から登録してください。市外局番がない場合、擬似なりわけ機能は働きません。

メモ：

- ・TEL1、TEL2どちらのポートの短縮番号に 登録しても鳴りわけます。
- ・片方のポートを呼び出している最中は「なりわけ」の 着信を拒否します。「なりわけ」によるベルの呼び出し 中は追加の着信を受け付けません。

#### 1-4 . プリフィックスコール機能

電話をかける時、電話番号の前に3桁の番号を入れることで、その時だけ 発信者番号通知や割り込み着信（キャッチホン）などのON/OFFが できます。

使い方：

以下の番号を電話番号の先頭に付けてダイヤルします。

- 180 : キャッチホン機能を停止する。
- 181 : HLCを通知しない。
- 182 : HLCを「電話」にして発信する。
- 183 : HLCを「FAX」にして発信する。
- 184 : 発信者番号を通知しない。
- 186 : 発信者番号を通知する。

メモ：

- 短縮番号や転送先番号につけて登録することができます。

### 1-5. 無通信監視タイマ機能の拡張

非同期—同期 PPP 通信やマルチリンクプロトコル通信のときにも通信状態を監視するようにしました。

### 1-6. ファクシミリ無鳴動着信機能の拡張

ダイヤルイン契約している場合は、番号ごとにファクシミリ無鳴動着信設定することができます。

設定： 契約者回線番号を無鳴動着信にする。

- 1 受話器を上げ（9）（\*）（6）（3）と押す。
- 2 受話器を戻す。

設定： ダイヤルイン番号（追加番号）を無鳴動着信にする。

- 1 受話器を上げ（9）（\*）（6）（4）と押す。
- 2 受話器を戻す。

保存：

受話器を上げ（9）（\*）（#）と押し受話器を戻す。

確認：

- 1 受話器を上げ（#）（9）（\*）（6）と押す。
- 2 受話器を戻す。10秒間表示窓に表示されます。

### 1-7. サブアドレスの拡張

データポートのサブアドレスに、数字に加え 英字等のキャラクタも入力できるようにしました。また、キャラクタを含むサブアドレス発信もできるようになりました。

---

## 2. 拡張されたコマンド

レジスタ 初期値 機能

G1 1 通信モードを設定する。

0:マルチリンクプロトコルモード  
1:V.110モード  
2:同期 PPP モード  
3:パケット交換モード  
5:PIAFSモード

G11 7 通信モードごとの着信許可指定。

値	V.110	PPP	MP	パケット	PIAFS
0	X	X	X	X	X
1	○	X	X	X	X
2	X	○	X	X	X
3	○	○	X	X	X
4	X	X	X	○	X
5	○	X	X	○	X
6	X	○	X	○	X
7	○	○	X	○	X
10	X	○	○	X	X
11	○	○	○	X	X
14	X	○	○	○	X
15	○	○	○	○	X
32	X	X	X	X	○

G43 0 CONNECT のユーザデータ付加指定

0:付加しない  
1:付加する

コ . 拡張されたリザルトコード

数字 ワード 意味

1 CONNECT 接続しました。

<付加情報>

数字 接続時の回線速度です。  
+ +の後に続く文字はユーザデータです。  
/V.110 V.110 モードで接続しました。  
/PACKET パケットモードで接続しました。  
/PPP 同期 PPP モードで接続しました。  
/MP マルチリンクプロトコルモードで 接続しました。  
/PF PIAFS モードで接続しました。(追加)

2 RING 着信しました。

<付加情報>

数字 相手の発信者番号です。  
\* \*の後に続く文字はサブアドレスです。  
+ +の後に続く文字はユーザデータです。  
/V.110 V.110 モードで着信しました。  
/PACKET パケットモードで着信しました。  
/PPP 同期 PPP モードで着信しました。  
/MP マルチリンクプロトコルモードで 着信しました。  
/PF PIAFS モードで着信しました。(追加)

---

#### 4. データ通信の交信記録追加表記

AT#Hコマンドで表示される形式は次のとおりです。

```
001 xxx 110 D 1234567*001+Hello
```

xxx :        P. パケットモード  
             C. V.110モード  
             N. 同期PPPモード  
             M. マルチリングプロトコル  
             F. PIAFSモード (追加)

---

#### 5. アナログポート設定追加内容

機能        操作

1\*50 擬似なりわけしない (初期値)

1\*51 擬似なりわけする

9\*63 契約者回線番号着信のみ無鳴動

9\*64 ダイヤルイン着信のみ無鳴動

---

#### 6. アナログポート設定追加表示

操作	表示内容	表示例	表示例の意味
#1*5	擬似なりわけ設定	1-4-0	なりわけしない